



楽しみ方いろいろ 植物観察

自然解説員

かとう ゆういち
加藤 裕一

植物は、じっとそこに居てくれるので、とことん心行くまで見ることができ、そして繰り返し観察かんさつができる利点りてんがあります。気になる植物を見つけたら、ぐぐっと近づいて、まずは色や形をじっくりと観察してみましよう。そして、成長の仕方せいじょうや花から実への変化なども継続けいぞくして追跡ついせきしてみましよう。身近な植物にも、必ず何かしら発見はっけんがあります。自分で見つけた発見は、植物観察を続ける大きな原動力げんどうりょくになると思います。観察の際には、虫眼鏡やルーペがあるととても便利です。植物のミクロの造形に、はっとさせられることでしょう。また、スケッチしたりデジカメで撮影さつえいしたりするのも効果的こうかてきです。スケッチする際には、うまく描く必要はありません。きれいだな・面白いなと思った部分ぶぶん、不思議だなと感じた部分ぶぶんなどを強調きょうこうして絵に描いておくと、文字だけでメモしておいた場合に比べて格段に強く印象に残り、後からよく思い出すことができると思います。はじめはちょっと面倒ですが、スケッチは植物を丁寧に観察する習慣しゅうかんをつける良い方法せひなので、是非試してみてください。



＜花に潜むクモ＞

植物にぐぐっと近づいて観察すると、色々なものが見えてきます。

花が咲いていたら、香りを嗅いでみましょう。花の香りは、特に強いもの（ロウバイ・クちなシ・キンモクセイなど）は図鑑ずかんでも紹介かいされ、匂いを思い出せる方も多いと思いますが、それ以外の花の香りについてはあまり紹介されていません。しかし実際にあれこれ嗅いでみると、中ぐらい～弱い香りのする植物は身の回りに

結構あることに気づきます。甘い香り・すっぱい香り・せっけんのようなさわやかな香り・ちょっと変な香り、など様々な香りがありますので、くんくんと嗅いでみて、香り探しを楽しみましょう。学校の自由研究などでは、花の香る日数・時間帯に注目してみるのはいかがでしょうか。咲いている間、花はずっと香りを出しているのでしょうか？一日で最も香りが強い時間帯はあるのでしょうか？なお、香りの感じ方・好みはかなり個人差があります。



＜ニワトコの花＞

なんとメシバが紫色です！そしてとある夏野菜の香りがします。

一緒に嗅いでみて、家族・友人の皆さんとあれこれ意見を出し合ってみるのも面白いでしょう。左の写真はニワトコの花で、早い年は3月の終わり頃から咲きだしますが、面白い香りがするので嗅いでみてください。また、葉や茎に触れると香りがする植物もあります。その代表は「シソ科」というグループで、私たちが食べている

あんなシソの仲間です。この仲間に触れてみると、それぞれ独特な香りがします（香りを楽しむハーブとしてシソ科の植物はよく利用されています）。公園内ではカキドオシがこれから伸び始めますので、触ってその独特な香りを確認してみましょう。

植物に触れてみると、葉の硬さ、毛深さ、ザラザラ感など、実にいろいろな感触が得られます。見ただけでは分からない植物の特徴を直接感じ取ることができる点で、触れてみることはとても重要です。また、芽吹いた直後のやわらかくみずみずしい葉が、急速にしっかりとしてくる様子なども分かり、植物がしっかりと成長していることを実感できると思います。

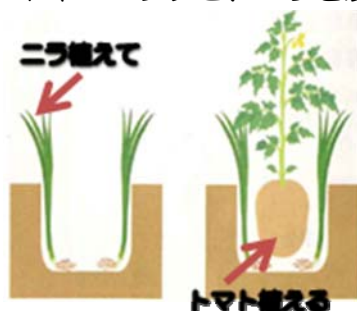
その他にも、音を立ててタネを飛ばす植物や、とても甘い蜜を出す植物もあります。まさに五感を使って植物を様々な角度から楽しんでほしいと思います。

植物は、私たち動物とはかなり違った生活をしているため、はじめのうちは少々とっつきにくいかもしれません。また、凶鑑を開くとあまりなじみの無い用語がいくつも目に留まると思います。植物観察をこれから始めたい、という方には、植物の観察会に参加されることをオススメします。21世紀の森と広場では、様々な分野の観察会が行われていますが、植物の観察会も月に一回程度行われています（植物ウォッチング）。また、自然観察舎では土日祝日に「湿地の観察会」を実施しています。観察会では、上記のような五感を使った植物の楽しみ方や、他の生き物とのかかわりなど、様々な楽しみ方・視点を具体的に体験することができます。また、植物に関心を持つ仲間に出会えたり、気になっていた植物の名前を知ることができたりします。是非ご参加下さい。

安心な野菜を、楽しんで作る家庭菜園のすすめ

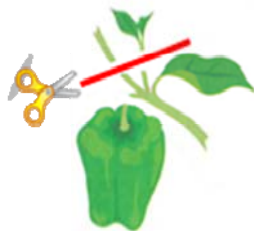
今年は、^{げんのうやく}減農薬、^{しょうろうりょく}省労力で、^{さいえん}エコ菜園。一步先行く楽しい農業を目指しましょう。

- ・米ぬかを畑の表面に撒くと雑草が生えにくい。
- ・ナスはV字仕立てにすると連続節成りになる。
- ・ナスの根元にパセリやショウガを植えると乾燥を防止できる。
- ・ショウガとサツマイモを混植すると、ショウガに虫がつきにくくなる。
- ・トマト苗の根を切って植えると、水分を抑えて、実が甘くなる。
- ・トマトやコマツナと、ニラを混植すると連作障害を軽減できる。



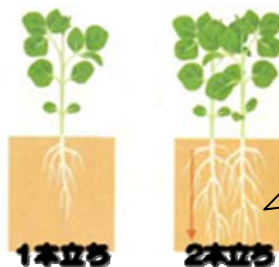
- ① ニラの根を底に置く。
- ② トマトの苗を植えつける。

- ・トマトとラッカセイを混植すると、トマトが甘くなる。
- ・ピーマンは、収穫ごとにわき芽を摘むと大きなピーマンができる。



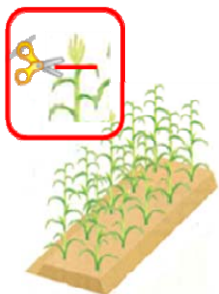
果実を収穫する時に、内側に伸びているわき芽を切る。

- ・エダマメやラッカセイなどのマメ科の植物は2株植えにすると空さやが減る。



1本立ちに比べ、2本立ちには根が競い合って深く伸びるので、水分をより多く吸収できる。

- ・オクラは4株植えにすると、やわらかいまま長期間収穫できる。
- ・収穫後のオクラの株は捨てずに枝にエンドウを絡ませれば支柱やネットがいらぬ。
- ・トウモロコシとエダマメを混植すると収穫量がアップする。
- ・トウモロコシは、雄花を切り取ると実が虫に食われにくくなる。



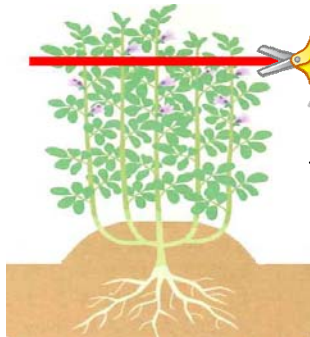
雄花が伸びてきたら、10株に1株だけ残してほかはすべて切りとる。

- ・ブロッコリーやキャベツ、カリフラワーとレタスを混植すると虫に食われにくくなる。
- ・ホウレンソウと葉ネギを混植すると病気になりにくくなる。



ホウレンソウの根は深い位置、葉ネギは浅い位置に根を張るため、肥料の効果的利用が可能。葉ネギが適度な日陰をつくり、弱光線を好むホウレンソウの育成がよくなる。

- ・タマネギは、クローバーを混植すると害虫を予防できる。
- ・タマネギは、苗を密植すると収量がアップする。
- ・ソラマメは、枝先をカットすればアブラムシの被害を軽減できる。



草丈70cmくらいのころ、ハサミや鎌で枝先をカットする。

- ・シュンギクはこまめに収穫すると長期間やわらかい葉を収穫できる。
- ・ミョウガは、落葉樹の根元に植えると、たくさん収穫できる。
- ・メロンやスイカ、キュウリは、長ネギと混植すると連作障害を軽減できる。

なぜかなと・・・理由をどうしても知りたい人は、公園の緑の相談で聞いてね。

かく かわ 隠れろ、乾くな、寒さを乗り切れ

自然解説員
かが よしえ
加賀 芳恵

えっとうさくせん ～虫たちの越冬作戦～

今年^{れいねん}は例年と比べ寒さが厳しい冬だと聞きます。春から秋には外を歩いていれば必ずそのときそのときの「顔見知り」ともいうべき昆虫たちと出会えたのですが、冬となるとその姿を見かける機会はぐんと減ることと思います。しかし、本当によく注意して探してみると…この季節、昆虫たちはどうにか冬を乗り切ろうと奮闘^{ふんとう}しているのだということがわかるでしょう。



まずはこの写真、矢印の先には白くて小さなチョウがいるのがおわかりでしょうか？

これは「ウラギンシジミ」という、花の蜜よりは動物の糞や果汁などの好きな、シジミチョウの仲間のなかでは少し変わった種類のチョウです。

その名の通りはねの裏側は見事な銀白色^{ぎんはくしよく}をしているため、冬枯れの景色のなかでじっとしているときに鳥などの外敵に見つかって大変ではないかと思われるかもしれませんが、彼らが冬を越すのはキツタやトウネズミモチのような常緑^{じょうりよく}の植物の葉の裏。まわりの葉が光を反射するなかまぎれて不思議と目立たず、うま

く隠れています。

これで敵の目はごまかせるわけですが、次に閼門となるのは、乾燥。

私たち人間もこの季節は肌のかさつきに悩まされる方も多いかと思いますが、冬越えをする昆虫たちにとっても乾燥は命にかかわる大敵。ミイラ化してしまうわけにはいかないのです。

ウラギンシジミの場合、ときおり葉裏についた水滴を飲むことで体の乾燥を防いでいるようです。



次にご紹介するのは「タテジマカミキリ」というカミキリムシの仲間。ウコギ科の植物の茎で冬を越します。

左の写真でご覧いただけるように、脚を使ってしっかりと茎にしがみつき、長い触覚も茎に沿って伸ばしています。なかなかこんな格好の昆虫を目にすることはありませんよね。体の色合いが茎にそっくりなのもあり、離れたところから眺めただけでは虫が止まっているとは気づかれません。

また、ただしがみついただけではなく、大あごを使って茎を削ってくぼみを作り、体を完全にぴったりと密着させます。こうすることで植物の持つ水分を使って

乾燥も防いでいるようにも思われます。一石二鳥の作戦、みごとです。

このように、冬の昆虫にはなかなか出会えないぶん、冬ならではの魅力があります。今回の2種のように体を空気にさらして冬越しするケースの他にも土や木、落ち葉などの中に入ったり、成虫の姿ではなく卵や幼虫、さなぎであったりする仲間も数多くいます。寒い日が続きますが、つい外から暖かい部屋にむかって足早になりがちなときにも少しだけ気をつけて彼らを探してみてください。春の到来を待つ姿に、ほんのりと親近感を抱けるかもしれません。





21世紀の森と広場 2・3月のイベント



講座名	日時	場所	費用	定員	講師	講座種別	受付
演芸教室 飾って楽しむプリザーブド フラワーのショートケーキ	2月2日(土) 13:30~15:00	多目的室	1,000 円	20名	みどりの相談員 秋元 満司氏	園芸教室	受付 終了
<内容> ワックスショートケーキ台にプリザーブドフラワー、ドライフラワー、生クリーム(紙粘土)などでアレンジをして 作ります。1人1個作成。手の平に乗る大きさです。【持ち物:エプロン】							
バードウォッチング (雨天時は観察舎)	2月17日(日) 10:00~11:30	園内	無料	25名	自然解説員 今村 裕之氏	バード ウォッチング	1/15~
植物ウォッチング 冬芽の観察(雨天時は屋内)	2月24日(日) 10:00~11:30	園内	無料	25名	自然解説員 藤田 泰氏	樹木 ウォッチング	1/15~
昆虫ウォッチング 越冬昆虫の観察(雨天時は屋内)	2月24日(日) 10:00~11:30	園内	無料	25名	自然解説員 五十嵐 清晃氏 室 紀行氏	昆虫 ウォッチング	1/15~
園芸教室 夏野菜の作り方	3月9日(土) 13:30~15:00	多目的室	無料	45名	みどりの相談員 小林 喜代次氏	園芸教室	2/15~
<内容> 講義形式:夏野菜の栽培、作り方についての説明 【持ち物:筆記用具】							
バードウォッチング (雨天観察舎)	3月17日(日) 10:00~11:30	園内	無料	25名	自然解説員 直井 宏氏	バード ウォッチング	2/15~
園芸教室 楽しく作ろう ~つるバラでハート仕立て~	3月23日(土) 13:30~15:00	多目的室	1,000 円	24名	みどりの相談員 丸尾 三恵子氏	園芸教室	2/15~
<内容> ワイヤハンガーを使ってハート型を作り、バラのツルを絡ませます。 【持ち物:汚れても良い服装、軍手等、持ち帰りよう袋(ハンガーが入る大きさ)、剪定ハサミ(持っている方)】							
みどりの講習会 英国西南端 コーンウォールを訪ねて	3月24日(日) 13:30~15:30	シアター	無料	60名	ハーブ研究家 桐原 春子氏	みどりの講習会	2/15~
<内容> バーナードリーチなど、芸術家の工房とその庭や、ミナックシアターの庭など個性的な庭の話							

※すべての催し物が予約制となっております。電話または直接パークセンター窓口でお申し込みください。



みどりの相談室



パークセンター「みどりの相談室」では、相談員の先生が園芸に関するさまざまな質問に無料でお答えします。電話でもお受けしていますのでお気軽にご相談下さい。

【相談日】 水・土・日曜日と祝日

【時間】 午前10時~12時・午後1時~3時30分

【電話】 047-345-8738
ハナミツバチ



しっち 湿地の観察会

自然観察舎では自然解説員と一緒に「自然生態園」の木道を歩く観察会を実施しています。費用は無料です。



木道の修繕に伴い、2月9日(土)から3月20日(水)まで湿地の観察会は中止となります。ご迷惑をお掛けします。

実施日	土曜日・日曜日・祝日
実施時間	10:00~10:30
	11:00~11:30
	13:30~14:00
	14:30~15:00
定員	25名(当日先着順受付)

※参加を希望される方は自然観察舎の受付までお申し込みください。

【電話】 047-340-4140

★ご来園の皆様へお願い★

安全、快適に公園を利用させていただくため、本公園ではいくつかのルールがあります。

自転車 (キックボード含む) の乗り入れ、**ペット** の持ち込み、**テント** 設営、**魚釣り**

(たこ糸を使ったザリガニ釣りはOK、テグスは不可) などは禁止となっています。また

動植物の採集 や鳥などへ**エサをやる** こともかたくお断りしています。きれいな花も

みんなで採ったら無くなってしまいますし、かわい可愛いからと、人間の食べ物を鳥などにあげる

と自分でエサを捕れず、自然界で生きていけなくなり、かえってかわいそうなことになってしまいます。ルールを守って楽しく過ごして下さいね。

発行日：2013年2月1日
 発行：21世紀の森と広場パークセンター
 開館：9:00~16:30
 11月1日~2月末までは
 9:00~16:00
 月曜休館(祝日開館/翌日休館)
 〒270-2252 松戸市千駄堀269
 TEL 047-345-8900
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/>

- ・ゴミは家までお持ち帰り下さい。
- ・なるべく公共の交通機関をご利用下さい。



21世紀の森と広場シンボルキャラクター
ドンちゃん・グリちゃん